

平成 31（令和元）年度「ふるさと新潟市応援寄附金」使い道実績報告

このたびはふるさと新潟市を想う多くの皆様から、温かいご支援をいただき、誠にありがとうございました。いただきましたご寄附は本市の大切な財源として、様々な事業に活用させていただきました。皆様からのご厚意に改めて感謝を申し上げますとともに、その活用状況等をご報告させていただきます。

1 寄附の状況

- ・総寄附件数 …… 9,511 件
- ・総寄附金額 …… 131,309,805 円（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

2 寄附の内訳（使い道別の実績）

寄附者の皆様には、下記の 7 つの分野から、寄附金の使い道を選んでいただきました。

使い道	寄附件数		寄附金額	
	合計	割合 (%)	合計 (円)	割合 (%)
① 歴史・文化・スポーツ	1,322	13.90%	17,870,000	13.61%
② 福祉	1,254	13.18%	17,492,000	13.32%
③ 子育て	2,229	23.44%	30,141,000	22.95%
④ 環境	1,062	11.17%	14,381,300	10.95%
⑤ 新潟ブランド	730	7.68%	10,640,000	8.10%
⑥ - 1 特色ある区づくり（北区）	64	0.67%	915,000	0.70%
⑦ - 2 特色ある区づくり（東区）	44	0.46%	590,000	0.45%
⑥ - 3 特色ある区づくり（中央区）	87	0.91%	1,140,000	0.87%
⑥ - 4 特色ある区づくり（江南区）	56	0.59%	785,500	0.60%
⑥ - 5 特色ある区づくり（秋葉区）	118	1.24%	1,560,005	1.19%
⑥ - 6 特色ある区づくり（南区）	131	1.38%	1,532,000	1.17%
⑥ - 7 特色ある区づくり（西区）	143	1.50%	1,730,000	1.32%
⑥ - 8 特色ある区づくり（西蒲区）	85	0.89%	1,240,000	0.94%
⑧ 市長におまかせ	2,186	22.98%	31,293,000	23.83%
合計	9,511		131,309,805	

3 活用事業例の成果報告

1. 歴史・文化・スポーツ

～市民スポーツの振興と歴史・文化の薫るまちづくり～

この分野を指定した寄附 17,870,000 円

●新潟市マンガ・アニメ情報館、新潟市マンガの家

マンガ・アニメ文化の継承・発展と交流人口の拡大による地域活性化を図り、企画展の開催や、初心者向けの無料マンガ講座など各種事業を行いました。

●にいがたマンガ大賞

プロ・アマを問わず、国内外から作品を募集するマンガコンテスト「第 22 回にいがたマンガ大賞」を実施しました。子ども向けの講座を実施したほか、コンテスト後は作品集を発行し、表彰式・作品展を開催しました。

●りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館の運営

市民芸術文化会館、音楽文化会館の施設を活かし、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を開催するとともに、愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした各種事業を行いました。

●東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などに向けたナショナルチーム合宿の誘致



フランス空手連盟と東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた本市での事前合宿に係る協定を締結しました。スケートショートトラック全日本強化合宿を受入れ、市民向けの公開練習を行いました。

●旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業

事業の 2 か年目として、今後の整備工事全体のコンセプトや大まかな方針、概要等を定めた基本設計を策定しました。また、庭園の一部整備工事として、老朽化が進んでいた垣根（竜安寺垣）の取替工事を行いました。

●新潟開港 150 周年記念事業

「Nii port フェスタ 2019」など各種事業を実施し、みなとエリアでの交流や賑わいを創出しました。企業・団体・官公庁などと「オール新潟」による連携が図られ、地域の誇りや愛着の醸成などにつながりました。

2. 福祉

～健康で生き生きと暮らせるまちづくり～

この分野を指定した寄附 17,492,000 円

●「助け合いのまちづくり」に向けた取組



住民同士の助け合いと支え合う地域づくりを広げるため、「地域の茶の間」への助成や地域包括ケア推進モデルハウスを運営するとともに、生活支援の重要性や心構えを学ぶ「助け合いの学校」を通じた担い手となる人材の養成を行いました。

●障がい者の雇用促進と就労支援

障がいのある方の就労への想いと企業の雇用ニーズを結びつける取り組みとして、就職を希望する障がい者の相談から就職後の定着支援まで一貫した支援を実施し、農福連携による就労機会及び訓練の場の拡大を図りました。

3. 子育て

～未来を担う子どもたちの育成～

この分野を指定した寄附 30,141,000 円

●未満児保育事業

3歳未満児の生命の安全及びその心身の順調な発達が保障されるよう、国の基準は、1歳児6人につき保育士1人を配置するところ、新潟市の条例により未満児3人につき保育士1人を配置し、未満児の福祉向上を図りました。

●子どもの貧困対策

経済的支援として、児童扶養手当の支給やひとり親家庭に対する医療費助成など、生活の安定と自立の促進を図ったほか、貧困の連鎖を防止するための子どもの学習会について、参加対象者や会場を増やして開催するなどの取組を実施しました。

●病児・病後児保育事業



風邪等の病気や病気の回復期にある生後6か月から小学6年生までのお子さんを対象に、仕事等により家庭で保育できない保護者に代わって、看護師と保育士が医師と連携しながらお預かりする保育サービスを、すべての区で実施しました。

4. 環境

～環境保全に向けた取組～

この分野を指定した寄附 14,381,300 円

●市の鳥「ハクチョウ」が多く飛来する豊かな自然環境の保全



里潟の魅力学ぶ自然観察会・体験会を開催したほか、ラムサール条約湿地「佐潟」では、潟に関わる様々な団体が参加する佐潟周辺自然環境保全連絡協議会を開催し、佐潟の保全や賢明な利用の推進に向けて協議を行いました。

●環境と人にやさしい農業支援事業

持続可能な環境保全型農業を推進するため、化学肥料・農薬を減じた 5 割減栽培と併せて行うケイ酸資材の投入や、環境保全型・資源循環型の資材、機械・施設の導入への支援を行い、安心・安全な農産物の供給に努めました。

●飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成

殺処分の大半を占める野良猫を減らし、地域の快適な生活環境の保全を図るため、新潟市動物愛護協会が実施している猫の不妊去勢手術費助成事業に対して、補助金を交付しました。また、地域で取り組む野良猫問題解決対策として地域猫活動支援事業を行いました。

5. 新潟ブランド

～全国に誇れる、食をはじめとした新潟市の品の魅力づくり～

この分野を指定した寄附 10,640,000 円

●元気な農業応援事業

規模拡大及び経営の複合化を図るための機械や施設導入を支援しました。また、新規需要米の地域内流通や麦、大豆の生産性向上への支援を継続しました。また、新たに大規模な園芸産地化を目指す取組に対して支援を行いました。

●新潟市健幸づくり応援食品認定制度



新潟市内産の食品の高付加価値化および市民の健康増進に寄与することを目的に、機能性成分「柿葉ポリフェノール」を含んだ2食品について新規認定を行い、市報にいがたおよび市ホームページにて情報発信を行いました。

●食文化創造都市推進事業

民間で行う食文化の発展や魅力発信の取組を支援したほか、食と農と様々な地域資源を結び、食文化を通じて地域の魅力を一体的に体験できるガストロノミーツーリズムの構築を目指し、レストランバスを活用したツアーを実施しました。

6. 特色ある区づくり

～新潟市を構成する8つの区の特色・魅力に磨きをかける～

○北区……………この分野を指定した寄附 915,000 円

●地域子育て支援事業

子育て世帯や支援者向け講座を開催し、延べ 379 名から参加をいただきました。子育て応援カフェ開催により、地域で子育てを支える体制構築を推進しました。また、北区子育て情報冊子を発行して子育てに関する情報をわかりやすく発信しました。

●「次世代農業」推進事業

トマト農家へ経営状況や ICT 技術導入に係るアンケートを実施し、課題等の把握を行いました。また、北区特産のサツマイモ「しるきーも」は、北区飲食店や小学校と連携し加工品の販売・PRを行い、販路拡大が図られました。

○東区……………この分野を指定した寄附 590,000 円

●東区の産業・観光にぎわいプロジェクト



東区の魅力を発信するため「東区産業・観光フォトコンテスト」を開催し、市内外より 64 名・176 点のご応募をいただいたほか、地域活性化のため工場夜景バスツアーを 4 回実施し、延べ 155 人の方にご参加いただきました。

●区民のこいのぼりプロジェクト in 寺山公園

4 月 26 日～5 月 26 日のうち 17 日間、区民を中心に無償で提供いただいた「こいのぼり」を寺山公園内に 10 基掲揚しました。掲揚期間中、地元企業や団体と連携したイベントを開催し、24,000 人来園しました。

○中央区……………この分野を指定した寄附 1,140,000 円

●とやの物語<<NEW STORY>>

鳥屋野潟の自然を身近に感じ、潟の未来について関心を高めていただけるよう、乗船体験やウォーキングなどの体験型プログラムのほか、小・中学生による討論会「子ども環境サミット」を開催し、魅力発信に努めました。

●北前船がもたらした伝統的産業 PR 事業

北前船と密接に関連する伝統的産品である「新潟漆器」、「発酵食」と、新潟湊の繁栄を象徴する「古町芸妓」の PR を行い、魅力再発見、認知度向上、次世代への普及促進とともにこれらの産業の振興を図りました。

○江南区……………この分野を指定した寄附 785,500 円

●江南区ぐるっと巡って発見・体験ツアー

市伝承芸能へ無料バスを運行する二次交通支援や、水との闘いを巡るバスツアーにより交流人口の拡大を図りました。また、四季の風景のフォトコンテスト実施や VR 動画の作成を通じ、魅力の発見・発信を行いました。

●「農」に親しむ

区内の特産農産品をモチーフにした江南区親善大使キャラクターを積極的に活用しながら、収穫体験や加工体験、農産品を題材にした料理のフォトコンテスト、直売所スタンプラリーなど、様々な「農」に親しむ機会の提供を図りました。

○秋葉区……………この分野を指定した寄附 1,560,005 円

●Akiha レール浪漫 <ren-ketsu>

新津の地域資源である「鉄道」に関する施設や資料、人材を活用し、市民協働事業を通じて「鉄道の街にいつ」のイメージを醸成、まちなかの活性化と交流人口の増加を図りました。また、観光案内所を開設し、案内機能を充実しました。

●Akiha もち麦プロジェクト推進事業

秋葉区産もち麦の販路拡大のため、展示会への出展や健康レストラン取組店への支援を行いました。また、福祉施設が栽培したもち麦の収穫体験等を障がい者と保育園児が行い、農業理解や食育推進につなげています。

○南区……………この分野を指定した寄附 1,532,000 円

●南区ル レクチエ ブランディング事業

フランスへのル レクチエの里帰りを通じて、有名パティシエとル レクチエのコラボメニューを開発・販売し、ル レクチエの価値向上を目指しました。情報発信を積極的に行う中で、関東や海外のメディアでも取り上げていただきました。

●南区まちづくり支援事業

区内民間団体を中心に設立された、「にいがた南区創生会議」と協働で、地元の特産や素材を活用した、「みなみマルシェ」を開催し魅力発信に努めました。

○西区……………この分野を指定した寄附 1,730,000 円

●西区特産農産物 魅力発信・ブランディング事業



西区の特産農産物の消費と販路拡大、交流人口の拡大を図るため、首都圏の市場やアンテナショップ、市内のイベントで PR を実施しました。

●西区を堪能 まち歩き・観光ツアー

旬の特産農産物の収穫体験などを組み合わせた集客できる観光コースを企画造成し、まち歩きや観光ツアーの実施により、交流人口の拡大を図りました。

○西蒲区……………この分野を指定した寄附 1,240,000 円

●わらアートまつり事業



市民と武蔵野美術大学生との協働で 5 体のわらアート作品を制作し「わらアートまつり」を開催しました。開催日当日は地域の魅力を発信する催しを多数実施し、作品展示期間中は 4 万 5 千人が来場しました。

●にしかん健康プロジェクト～はじめの一步 つづける一步～

区民の運動習慣のきっかけづくりとして 3 か月間の「にしかんウォーキングチャレンジ」を実施し、健康意識の向上と健康寿命の延伸に取り組みました。

7. 市長におまかせ

～市が取り組んでいる事業全般に活用させていただきます～

この分野を指定した寄附 31,293,000 円